

## 第3回 島田市旧市内小中一貫教育推進検討委員会 概要

学校教育課

日時：令和6年1月15日（月）午後7時～8時40分

会場：島田市役所 大会議室西

出席：委員13人（有識者1人、地域住民代表3人、保護者代表5人、学校長4人）  
事務局（教育部長、学校教育課長、主席指導主事、学校教育係長）  
オブザーバー（教育長）

欠席：委員2人（地域住民代表）

### 1 開会

### 2 事務局より

(1) 第2回検討委員会の記録（概要）

(2) 旧市内小中学校学区編制の経緯

- ・人口の増加に対して、子供たちの学びの場を確保するため、距離等を考慮し校舎建設を進めてきた。
- ・第一小の歴史、第二小～第五小の歴史で区分される。
- ・歴史的には第四小が一番古い小学校

### 3 協議

(1) 島田第一小学校区から島田第五小学校区ごとの安全面や交通等に関する整理  
〈島田第一小学校〉

- ・学校までは広い通りがあるが、交通量が少ない道を選んでいる。
- ・入り組んだ道は不審者等の心配がある。
- ・荷物が多く、横井地区から中学校までは遠い。

〈島田第二小学校〉

- ・旗指バイパスインターから南に向かう広い道路の横断が危険。
- ・トラックが多く、地下道は不審者情報もあり不安。
- ・県道64号線車の往来が多く、立体交差箇所はドライバーから歩行者は見えにくい。
- ・大井神社や市役所付近は、学校まで大きい通りはなく問題はない。

〈島田第三小学校〉

- ・分離して中学校に進学することが一番の心配ごとで、早期解決をお願いしたい。
- ・通学距離が長く、広い道ではない道路は危険だと感じている。
- ・横井町、南町は面積が広く子供の数も多い。
- ・線路をまたいだ北側に住んでいる子は線路を超えてくるが、歩道があるのであまり危険とは思わない。
- ・アピタから西に向かう道は交通量は多いが歩道があるため安全に登校できる。
- ・子供の割合は、横井4割、南町4割、線路北側2割。

〈島田第四小学校〉

- ・ 四小、島二中、附属中が隣接しているので、登校時に重なる交差点や横断歩道がある。
- ・ はなみずき通りの車の往来が多く、旧国道の横断が危険。
- ・ 旧国道から学校までの道が急に細くなる道や歩道が整備されていないところは危険。
- ・ 学区は東西に長く、旗指・元島田地区に住宅地があり子供も多い。
- ・ 本通に住む子供は少なくなっている。
- ・ 校舎は街中から少し離れた北の方に移動した経緯がある。

〈島田第五小学校〉

- ・ 広い道よりも裏道的な道を選んで通っている子が多い。
- ・ 広い道も歩行者がよく通る道であり、交通面安全面で心配はあまりない。
- ・ 自転車通学者とのすれ違いが危険、マナーの啓発が必要。
- ・ 高島町は五小のすぐ横ではあるが、旧六合村であるため学区に入っていない。

(2) 旧市内全体で生じている不具合について

- ・ 中学に通う際、一中、二中はどちらも旧市内の北側に位置しているため、第三小、第五小の南側に住んでいる方は距離がかなり遠くなる。

(3) 課題、不具合についてどのように解決していくか

〈2060年までの人口減について〉

- ・ 提示している資料は、旧島田地区の人口推移であるため、統合後と大津地区、六合地区の人口推移も確認したい。
- ・ 小学校中学校を一本化していくのはどうか。
- ・ 横井町は二小の学区に含めたらどうか。
- ・ 中学校の分離進学がないように小学校を統廃合させたらどうか。

〈校舎施設について〉

- ・ 建築や大規模改修は高額な予算が必要であり、建て替えか、集約化して改修するのか具体的な計画はない。
- ・ 建物を減らす、統廃合していく視点も必要ではないか。
- ・ 体育館は避難所としての機能もあるので地域の安心安全の面も考えて計画してほしい。

〈統廃合について〉

- ・ 小中一貫教育を進めるために、南部の校舎を使って中学校を増やすことはどうか。
- ・ 学校を統合すると通学距離が長くなる。
- ・ 小学校は概ね4キロまで、中学校は6キロまでが徒歩圏内という基準はある。
- ・ 通学距離や時間を目安に小中学校の配置を考えていく必要がある。
- ・ 統合は、1学年が20人以下になってから検討を始めることは定義されている。

る。

- ・校舎の老朽化の対策として早めに統廃合する選択肢もあるのではないか。  
〈その他〉
- ・タブレット、教科書等荷物が多く想定している通学時間よりも長いと思う。
- ・タブレット導入はコロナで急速に進み、今は教科書と併用している。
- ・学校では持ち帰り荷物はなるべく少なくするよう声掛けしている。

#### (4) 委員長まとめ

- ・島田市の基準としては、20人が統廃合の目安である。
- ・2060年の予想人数では統廃合の基準にはならないが、もっと早い時期に人口が減る可能性もある。
- ・校舎の老朽化を視野に入れ、統廃合はどうか、方法や検討時期を引き続き議論していきたい。
- ・次回は、特に課題となっている三小の分離進学に関連し、中学校の接続について協議したい。

#### 4 事務局から

- ・第4回は今年度中に開催予定